

### (3) 透水性舗装の高温化抑制効果に関する調査結果

#### 調査内容

透水性舗装の試験施工箇所及び通常舗装において舗装体温度を同時に測定し、これらの比較により透水性舗装の高温化抑制効果を把握した。(調査箇所:府道京都守口線)

#### 調査結果

調査によって得られたデータは次のとおり。

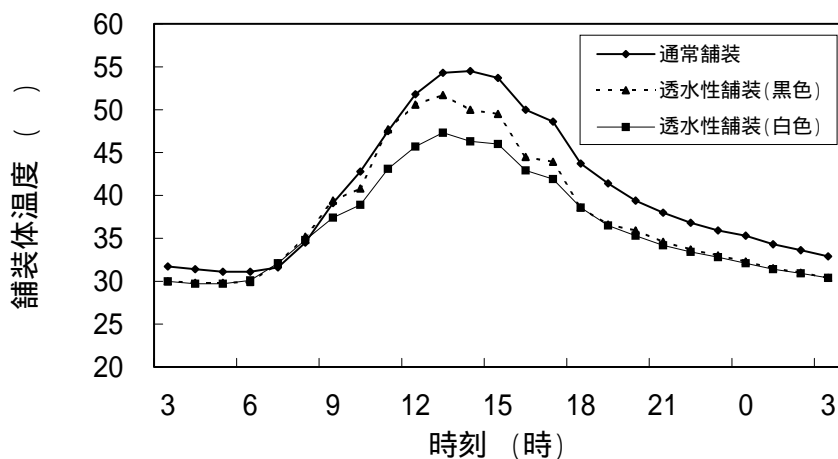


図1 舗装体温度の時間変動の例 (H15.9.1～2測定)

透水性舗装(白色)は、舗装表面に明色化処理を施した透水性舗装。  
透水性舗装(黒色)は表面処理なし。  
舗装体温度は表層に埋設した熱電対により測定(舗装表面下1cm)。

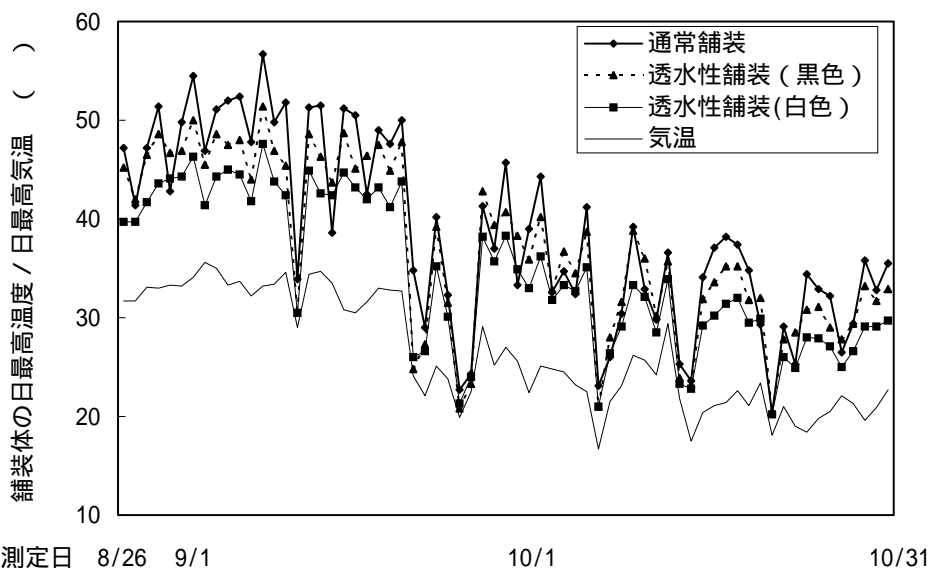


図2 舗装体温度の測定結果(H15.8.26～10.31)

気温はアメダス(気象庁)による

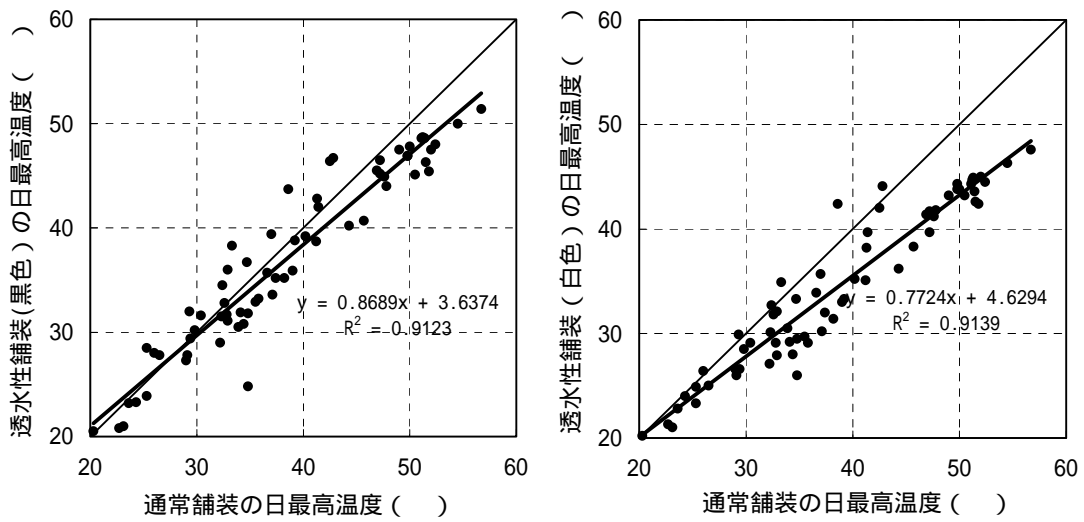


図3 透水性舗装及び通常舗装の日最高温度の比較

表1 透水性舗装の高温化抑制効果

| 通常舗装の日最高温度( )     |    | 20～30 | 30～40 | 40～50 | 50～60 | 全期間  |
|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|------|
| 透水性舗装の高温化抑制効果 ( ) | 黒色 | ±0.0  | -1.0  | -1.3  | -4.0  | -1.4 |
|                   | 白色 | -1.2  | -3.6  | -4.9  | -7.6  | -4.2 |
| 測定日数              |    | 14    | 25    | 16    | 12    | 67   |

まとめ

透水性舗装における日最大温度の低減が明確に認められ、高温化抑制効果が安定して発現していることが確認された。

透水性舗装の高温化抑制効果は、密粒度舗装が高温化する条件下で顕著に発現した。密粒度舗装の最高温度が50～60 となる日の平均的な効果は、-4.0 (黒色)及び-7.6 (白色)であった。